

第3回 北陸地域における
カーボンニュートラルポート（CNP）新技術等活用検討ワーキングチーム
議 事 概 要

日 時 : 令和5年1月31日（火）13:30～16:00

場 所 : ホテルグローバルビュー新潟 3階 春日の間

（対面・オンライン会議（Microsoft Teams）併用形式）

議 事 概 要

- (1) 構成員の追加等について [北陸地方整備局]
- (2) 本日の議論の進め方及び今後の予定 [北陸地方整備局]
 - 事務局から本日の議論の進め方及び今後のスケジュールについて説明した。
- (3) CNP形成に向けた動き [国土交通省港湾局CNP推進室]
 - 国土交通省港湾局CNP推進室からカーボンニュートラルの新技術に関する話題提供について説明があった。
- (4) 構成員からのプレゼンテーション
 - 1) 東芝 二次電池SCiB 港湾における利活用について [東芝]
 - 株式会社東芝からリチウムイオン電池の港湾での利活用について説明があった。
 - 2) FC荷役機械の概要と港湾空間での利活用提案 [三井E&Sマシナリー]
 - 株式会社三井E&Sマシナリーから水素燃料電池搭載トランスレーナの開発状況等について説明があった。
 - 3) ハイブリッド発電システムEBLOX/カーボンニュートラル対応新型RTG
[三菱重工業/三菱ロジスネクスト]
 - 三菱重工業株式会社から不安定な再エネを安定化し最大活用するハイブリッド発電システムについて、三菱ロジスネクスト株式会社から将来的な水素燃料電池への換装が可能なカーボンニュートラル対応新型RTGについて説明があった。

4) 停泊中船舶のCO2削減 陸上電力供給システム [富士電機]

- 富士電機株式会社から陸上電力供給システムの課題と検討例について説明があった。

5) 太陽光発電導入に向けたPPAサービスの紹介 [北陸電力]

- 北陸電力株式会社からお客さまの初期投資なしでPPA※事業者が太陽光発電設備を新設し、発電した再エネ100%の電気を使用することができるPPAサービスについて説明があった。(※PPA:Power Purchase Agreement (電力購入契約))

6) 新潟東港コンテナターミナルにおける水素の利活用に関する調査(骨子)

[新潟国際貿易ターミナル]

- 株式会社新潟国際貿易ターミナルからNEDO委託事業である新潟東港コンテナターミナルにおける水素の利活用に関する調査の検討状況について説明があった。

7) 輸入拠点の港湾に必要な施設と技術に関わるIHIの取組みについて [IHI]

- 株式会社IHIから輸入拠点の港湾に必要な施設と技術について説明があった。

(5) CNP新技術等の日本海側港湾空間へのフィールド展開に向けた基本的な方向性の骨子 [北陸地方整備局]

- 事務局から今年度にとりまとめる「CNP新技術等の日本海側港湾空間へのフィールド展開に向けた基本的な方向性」の骨子について説明した。

(6) チームディスカッション(意見交換・質疑)

- 構成員から「技術によっては実装可能な段階のものがあるが、残念ながら導入という点では進んでいない。技術的に良くても経済的にブレークスルーできないケースがある」、「海外の大規模な港湾ではカーボンニュートラル関係の技術導入によりコストがあがり、そのコストを港湾利用料に転換したとしても、荷物は逃げない」、「港則法の縛りの整理や情報共有が必要」、「来年度以降に成果を形にしていく段階で、個別企業の経営に影響が出てくるものもある

る。港湾管理者もしっかり計画にかかわって欲しい（オブザーバーではなくて）」、「各港のターミナル内だけの技術の話だけでなく、広域的な需要や視点が必要」などの意見があった。